



FUSE Dr.IKENO Talk

2021.4.6 (TSU) 17:30-19:00

池野文昭氏が語るイノベーションとは？

イノベーション＝発明 × 実行 解決策＝アイデア × 技術
発明＝困っていること × 解決策 解決策＝アイデア × 現場ニーズ（人間中心）

浜松市出身、スタンフォード大学主任研究員の池野文昭氏を迎え繰り広げられた「イノベーション」についてのトーク。そもそも「イノベーション」とは「一見関係なさそうな事柄を結びつけ、新しい価値を創造すること」。世界中でイノベーションを成長戦略に掲げている企業も少なくない。とはいえ、イノベーションはいろんな人がいろんな場所で、いろんな定義で使ってはいるが、本当はよく分からない人は多いはず。

イノベーション活動では、試行錯誤を繰り返す言葉として“Fail often, Fail fast, Fail cheap” “何度も失敗して、早く失敗して、失敗コストを安く”という言葉がある。“失敗はしたくない”という感覚が染みついている日本人にとって、Fail＝失敗はマイナスのイメージ。だったら失敗ではなく挑戦という言葉に変化させてみたらどうだろう。“Challenge often, Challenge fast, Challenge cheap” 何度も挑戦して、早く挑戦して、安いコストで挑戦しよう “ということ。すぐ前向きな言葉に変化したのではないか。「失敗」はネガティブにとらえがちだったが、「失敗はすべて挑戦に変えていく」という発想の転換は新鮮だ。

興味深かったのは日本は一人あたり GDP が長い年月上昇していない、先進国で唯一の国という話。組織の中で閉塞感があり、うまくイノベーション活動が出来ていない、成長戦略のイノベーションを起こせていない。理由が戦時中の資料に存在していた…恐ろしい…これって、これから変えていけるのかなあ。変えなきゃなあ。